

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)

【公開番号】特開 2005-250094 (P2005-250094A)

【公開日】平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)

【年通号数】公開・登録公報 2005-036

【出願番号】特願 2004-60228 (P2004-60228)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/027 (2006.01)

G 0 3 F 7/00 (2006.01)

G 0 3 F 7/021 (2006.01)

G 0 3 F 7/038 (2006.01)

G 0 3 F 7/20 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 7/027 5 1 5

G 0 3 F 7/00 5 0 3

G 0 3 F 7/021

G 0 3 F 7/038 5 0 1

G 0 3 F 7/20 5 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 23 日 (2007.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

親水性支持体上に (a) (メタ) アクリル酸を構成モノマーとして用いたビニル系共重合体に、分子内に (メタ) アクリロイル基を有するエポキシ化合物を反応させて得られる (メタ) アクリロイル基含有アルカリ可溶性樹脂バインダー、(b) ジアゾ樹脂を含む画像形成層を設層してなる感光性平版印刷版材料に、デジタル・ミラー・デバイスを用いて画像様に紫外領域の光を照射することにより画像記録を行い、その後未露光部の画像形成層をアルカリ性水溶液により除去することを特徴とする平版印刷版の作製方法。

【請求項 2】

親水性支持体上に (a) (メタ) アクリル酸を構成モノマーとして用いたビニル系共重合体に、分子内に (メタ) アクリロイル基を有するエポキシ化合物を反応させて得られる (メタ) アクリロイル基含有アルカリ可溶性樹脂バインダー、(b) ジアゾ樹脂を含む画像形成層を設層してなる感光性平版印刷版材料を、デジタル・ミラー・デバイスを用いて画像様に紫外領域の光を照射することにより画像記録を行い、その後未露光部の画像形成層をアルカリ性水溶液により除去したものであることを特徴とする平版印刷版。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】平版印刷版の作成方法及び平版印刷版

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(請求項1)

親水性支持体上に(a)(メタ)アクリル酸を構成モノマーとして用いたビニル系共重合体に、分子内に(メタ)アクリロイル基を有するエポキシ化合物を反応させて得られる(メタ)アクリロイル基含有アルカリ可溶性樹脂バインダー、(b)ジアゾ樹脂を含む画像形成層を設層してなる感光性平版印刷版材料に、デジタル・ミラー・デバイスを用いて画像様に紫外領域の光を照射することにより画像記録を行い、その後未露光部の画像形成層をアルカリ性水溶液により除去することを特徴とする平版印刷版の作製方法。

(請求項2)

親水性支持体上に(a)(メタ)アクリル酸を構成モノマーとして用いたビニル系共重合体に、分子内に(メタ)アクリロイル基を有するエポキシ化合物を反応させて得られる(メタ)アクリロイル基含有アルカリ可溶性樹脂バインダー、(b)ジアゾ樹脂を含む画像形成層を設層してなる感光性平版印刷版材料を、デジタル・ミラー・デバイスを用いて画像様に紫外領域の光を照射することにより画像記録を行い、その後未露光部の画像形成層をアルカリ性水溶液により除去したものであることを特徴とする平版印刷版。